

## 自然を語る会

\*日 時：2025年7月19日（土）

\*場 所：飯田橋ボランティアセンター(7名)+ ZOOM

### 『沈黙の春』を読み終えて

この日は、自然を語る会で先月2025年6月に皆で読み終えた『沈黙の春』について、全体を振り返り参加者が思い思いに感想を語り合いました。

一人では最後まで読破が難しいこの書籍について、自然を語る会（旧・読書会）では2006年11月～2008年12月（全22回）にかけて取り上げ、上遠恵子さん、故・鈴木善次さん、故・廣重壽子さんほかの方々を中心となり、毎回、コメントや質疑を挟みながら読み合わせをし、皆で読み継いでいきました。

その後、時間がたち新たな会員も増え、自然を語る会で取り上げて欲しい・また読み返してみたいという声があがり、2022年6月から3年をかけて再読しました。今回は参加者が交代で各章を担当し、資料準備や当日の会話をリードする形で行われました。

なお、各章の活動報告は下記のとおり、関東フォーラムのホームページに掲載されています。

\*HPのURL <https://j-rcc.sakura.ne.jp/kantou/>

HP「活動報告」の見出しから タイトル：「自然を語る会」の以下の日付の報告

HP活動報告の日付	『沈黙の春』各章のタイトル (新潮社版)		担当者（敬称略）	参加人数
	章			
2022.6.18	1	明日のための寓話	小川 真理子	15
7.16	2	負担は耐えねばならぬ	小川 真理子	18
(報告なし)	3	死の霊薬	—	—
12.10	4	地表の水、地底の海	柳沢 征克	15
2023.1.21	5	土壌の世界	北沢 久美	21
2.18	6	みどりの地表	田村 博	不明
5.20	7	何のための大破壊？	小田部 耕二	20
6.17	8	そして、鳥は鳴かず	渡辺 浩隆	21
7.15	9	死の川	鈴木 善次、渡辺 浩隆	24
10.21	10	空からの一斉爆撃	赤藤 由美子	17
11.18	11	ポルジア家の夢をこえて	小川 真理子	16
2024.1.20	12	人間の代価	西野 翠	16
2.17	13	狭き窓より	原田 哲郎	15
9.21	14	四人にひとり	北沢 久美	19
10.19	15	自然は逆襲する	村上 滋美	12
2025.5.17	16	迫り来る雪崩	西野 翠	不明
6.21	17	べつの道	浅井 千晶	16

( 勝山 久美子 記 )